

## 研究内容の説明文

|          |                                 |
|----------|---------------------------------|
| 研究課題名    | 健常ボランティア由来の血液試料を用いたがん抗原エピトープの同定 |
| 研究期間     | 平成 27 年 10 月～平成 30 年 3 月        |
| 研究機関名    | 神奈川県立がんセンター臨床研究所                |
| 研究責任者職氏名 | 部長 笹田 哲朗                        |

### 研究の説明

#### 1 研究の目的・意義

がん患者が年々増加傾向にある中で、現在広く行われている外科療法、化学療法、放射線療法に続き「がん免疫療法」が第4の治療法として注目・期待されています。しかしながら、まだ標準治療として確立されていないため、科学的根拠に基づいたがん免疫療法の開発が必要です。我々は、新しいがん免疫療法、とりわけがんワクチン療法の開発を目指して、がん細胞の目印(標的)となる「がん抗原」の同定を行っております。本研究では、提供いただいた血液を用いて、高い免疫原性が期待できるがん抗原エピトープペプチド（免疫反応を示す9-11個のアミノ酸の結合体をエピトープペプチドと言います）を同定するために研究を実施します。なお、本研究は献血者個人にがんがあるかどうかを同定するものではありません。

#### 2 方法《献血血液の使用方法含む》

血液から末梢血単核球を分離したのち、がん抗原で刺激しながら培養します。それぞれのがん抗原に由来するエピトープペプチドに対する特異的な免疫反応（細胞傷害活性及びサイトカイン産生により判定）を調べることにより、免疫原性の高いがん抗原エピトープペプチドを同定します。

#### 3 予測される研究の成果等

本研究の成果として、免疫原性の高いがん抗原エピトープペプチドが同定され臨床応用されれば、がん免疫療法の臨床効果を改善し、将来的にはがん征圧に寄与するものと期待されます。

#### 4 血液の廃棄と保管

血液検体は使用するまでの間、研究室内の保管庫で厳重に保管します。もし、本研究終了時（平成30年3月31日の予定）に検体試料の残存分が生じた際には使用不能な状態にしてから医療用廃棄物として適切に廃棄します。

受付番号 28J0009

### 本研究に関する問い合わせ先

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 所属   | 神奈川県立がんセンター臨床研究所                |
| 担当者  | 大竹 淳矢                           |
| 電話   | 045-520-2222                    |
| Mail | o-take@gancen.asahi.yokohama.jp |